

なかがわ 議会だより

No **103**

2013.1

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



1月8日 新春! 書き初め教室

主な 内容

- 年頭のごあいさつ
- 第4回 定例会 ●第3回 臨時会
- 平成23年度 決算審査特別委員会
- 一般質問
- 議会日誌 ●編集後記

年頭所感

中川町議会議長 佐藤輝雄



新年あけまして、おめでとうございます。
町民の皆様には、平成二十五年の輝かしい
新春を、御健勝にて迎えられましたことと
存じ、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から議会活動に対する深いこ
理解を頂いておりますことに、心から感謝
を申し上げる次第であります。

さて、昨年を省みますと、国内外とも政
治・経済・外交において大きな変革の流れ
がありました。年末に行われた総選挙の結
果、自民党が圧勝し安倍内閣の誕生となり
ましたが、経済再生など課題は山積してお
り、新政権において迅速且つ実効性ある政
策を期待するものであります。

中川町は過疎・少子高齢化の進展などを
始め、地域経済の活性化策、基幹産業であ
る農林業の振興策、高齢者福祉施策の充実、
更には本年3月開校の北海道中川商業高校
校舎の利活用方策など、様々な課題を抱え
ております。議会と致しましても今後、こ
れらの諸課題について、常任委員会での調
査審議を踏まえ、具体的な方策等を提案し
てまいりたいと考えております。

地方議会制度のあり方等については、議

会及び長による適切な権限の行使を確保す
るとともに、住民自治の更なる充実を図る
ため、議会の会期及び召集、議会と長との
関係、直接請求制度等について地方自治法
の一部改正が行われ昨年9月5日に公布さ
れました。中川町議会は12月第4定例会に
おいて、議会改革活性化の議論を踏まえ必
要な項目について条例改正を行い、今後、
更なる議論を深めてまいります。

平成25年度は、新たな政権による国の政
策や予算の動向により、地方自治体の行政
運営や政策についても、大きな影響を与え
ることが予測されます。行政と議会は車の
両輪と例えられますが、今般の自治法改正
を受けて、より議会の責任は重くなり、議
員の資質も厳しく問われてまいります。町
民の皆様からの御叱声を賜りながら、地方
分権、地方自治の確立に議会人としての務
めを果たせるよう全力を尽くしてまいり
存であります。結びに、この平成25年度が
明るい良い年であり、町民皆様御健勝で
ありますことを心からご祈念申し上げ年頭
のご挨拶と致します。

あけましておめでとうございます



渡部 俊彦



小川 鉄吉



鎌塚 一成



熊谷 健一



菊地 広幸



佐藤 正



坂尻 栄治

事務局
局長 松原 修二
主任 今野 恵

(議席順)

●中川町農業振興センター設置条例

教育委員に高橋 仁氏(再任) 川村美和氏(新任)
監査委員に安西克己氏(再任)を同意する

●一般会計補正で高齢者冬期生活支援事業助成を盛る

第三回臨時会

平成24年11月16日招集

平成二十四年第三回臨時会
は十一月十六日招集され、会
期を一日と決し、議案一件、
認定六件を決議し閉会しまし
た。

議案審議結果

【予算】

▼平成二十四年度中川町一般
会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞ
れ三、〇〇〇千円を追加し、
予算総額をそれぞれ三、六四
一、九六〇千円とする

【原案可決】

主な補正内容は高齢者世帯
等住宅除雪費助成金及び森林
整備加速化・林業再生事業基
幹作業道開設工事費などの追
加

【認定】

▼平成二十三年年度決算審査特
別委員会委員長報告

■事件名

平成二十三年年度中川町一般
会計歳入歳出決算認定

平成二十三年年度中川町国民
健康保険特別会計歳入歳出決

算認定

平成二十三年度中川町介護
保険特別会計歳入歳出決算認
定

平成二十三年度中川町後期
高齢者医療特別会計歳入歳出
決算認定

平成二十三年度簡易水道事
業特別会計歳入歳出決算認定
平成二十三年度農業集落排
水事業特別会計歳入歳出決算
認定

【原案認定】

第四回定例会

平成24年12月19日招集

平成二十四年第四回定例会
は十二月一九日招集され、会
期を二十一日までとし、三議
員の一般質問、同意三件、承
認一件、議案九件、会議規則
六件を決議し、二十一日閉会
しました。

議案審議結果

【同意】

▼中川町教育委員会委員の任
命

高橋 仁氏(再任)

川村美和氏(新任)

【全員賛成により原案同意】

▼中川町監査委員の選任

安西克己氏(再任)

【全員賛成により原案同意】

【承認】

▼専決処分の承認を求めるこ
とについて

■平成二十四年度中川町一般
会計予算補正

【原案承認】

主な補正内容は衆議院解散
に伴う衆議院議員選挙費の追
加

【条例など】

▼中川町農業振興センター設
置条例の制定

【原案可決】

条例を制定することにより
詳細に業務内容等を明文化し、
本来の目的達成のために事業
の推進を図る

▼議会等の調査及び公聴会等
に出頭した者の実費弁償に関
する条例の一部を改正する条
例

【原案可決】

地方自治法の改正に伴い、
本条例の一部を改正

▼中川町営牧場設置及び管理
に関する条例の一部を改正す

る条例

【原案可決】

牧場の利用増加が見込めな
いため、豊里・共和の二団地
の削除に伴い、本条例の一部
を改正

▼団体営土地改良事業の事業
計画の変更

【原案可決】

排水機場の完成に伴い、事
業計画を変更、併せて菅平幹
線排水路の受益面積の変更

【予算】

▼平成二十四年度中川町一般
会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞ
れ一七四、七七八千円を追加
し、予算総額をそれぞれ三、
八一九、六三八千円とする

【原案可決】

主な補正内容は青年就農給
付金事業費及び高齢者冬期生
活支援事業助成費などの追加

▼平成二十四年度中川町国民
健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞ
れ二六、三二一十千円を追加し、
予算総額をそれぞれ二六五、
二五〇千円とする

【原案可決】

主な補正内容は一般被保険者療養給付費及び高額療養費などの追加

▼平成二十四年度中川町介護保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ五、二六千円を追加し、予算総額をそれぞれ一九六、三〇六千円とする

【原案可決】

主な補正内容は施設介護サービス給付費などの追加

▼平成二十四年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ一、二二四千円を減額し、予算総額をそれぞれ三一四、二九八千円とする

【原案可決】

主な補正内容は量水器取替工事費などの減額

▼平成二十四年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ六三、四千円を減額し、予算総額をそれぞれ一九四、二七二千円とする

【原案可決】

主な補正内容は処理施設維持管理委託料などの減額

持管理委託料などの減額

【会議規則に伴うもの】

▼中川町議会会議規則の一部を改正する会議規則

【原案可決】

地方自治法の一部を改正する法律により、公聴会の開催参考人の招致をすることができることになったことに伴い、本会議規則の一部を改正

▼中川町議会委員会条例の一部を改正する条例

【原案可決】

地方自治法の一部を改正する法律により、議会運営（委員会）に関する規定が簡素化され、法律で定めた事項を条例に委任されたことに伴い、本委員会条例の一部を改正

▼委員会調査期限延期要求（総務常任委員会）

■事件

- 1 介護保険事業の推進状況について
- 2 食育推進活動の実態について
- 3 その他の所管する事務事業の推進状況について

■期限

平成二十五年第一回定例会

まで

【決定】

▼委員会調査期限延期要求（経済常任委員会）

■事件

- 1 農業振興の具体的な取り組みについて
- 2 公の施設に係る指定管理について
- 3 生活環境基盤整備の整備及び維持状況について

■期限

平成二十五年第一回定例会まで

【決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件

- 1 議会の運営に関する事項について
- 2 議会のあり方と活性化対策について

■期限

平成二十五年第一回定例会まで

【継続調査決定】

▼上川北部市町村議会議長会（一月定例会）及び旭川中川会新年交礼会

【議員派遣決定】



商店街活性化支援除雪事業



除雪サービス(就労センター委託事業)

議会を傍聴しませんか

議会活性化のために、多くの町民の皆さまの傍聴をお待ちしております。

問 移住・定住対策の現状と課題について

答 雇用対策を含め 懸命な努力をしております

人々の価値観やライフスタイルが多様化、複雑化している現在、移住者も様々な形態での希望があると考えますが、町の移住施策と必ずしも一致していない、あるいは移住を定住に繋げていく施策に不足があるのではないかと考えております。

現在実施されている移住体験事業は、安川三地区をエリアとしており、佐久地区を含めた本地域に定住化させていくことができるならば、エコミュージアム構想の一層の推進、基幹集落の維持再編に寄与するものと思われれます。

以上のことから、次の点について質問を致します。

- ① 現在までの移住・定住対策の取り組みと成果について
- ② 現状における課題について
- ③ 今後の移住施策の展開に向けた考え方について

川口町長

平成24年第1回定例議会におきまして、「中川町住宅新築・リフォーム促進条例」を予算とともに可決いただいたいております。執行状況につきましては、新築1件、リフォーム31件の申請をいただいております。住まいの環境の向上と定住化の促進に期待しているところであります。本町においても、平成18年度から安川三地区の教育財産である住宅を営繕し、概ね3ヶ月程度の期間でお試し暮らしを展開しております。現在利用受け付けできる住宅は2棟2戸となっております。PR活動の成果から、年50件程度の申込み、問い合わせがありますが、お試し暮らしの利用状況は年間5件程度で、この住宅利用者からの定住者は3名となっております。安川及び佐久地域で展開する「お試し暮らし」には、大



菊地広幸 議員

きな可能性があると考えております。この地域には、エコミュージアム構想のセンター施設と運営を支える地域の力、豊富な森林、畑作の適地、親水性の高い天塩川、安平志内川、昭和の懐かしい風景と人々の絆がそこに現存しています。雇用施策からのアプローチも必要ですが、この地域では、すでにそこにあるモノを発見し活用し発信していくことが大切な視点であると考えます。議員からのご指摘にもありますとおり、利用者のニーズを十分把握し、都会の住民の価値観を意識するために、継続した利用者のニーズを調査する一方で、町として「この地域で、こんなことをしながら、このような暮らしができる」といった提案ができる、そのような、目的を明確にしたお試し暮らしを展開する必要があるものと考えているところであります。

ところであります。

エコミュージアムセンターや集落での生活に魅力を感じる方が少なからず存在することは間違いありません。その意味においては、二点目の課題で申し上げた、地域が持つ魅力を総括し、一つのライフスタイルとして町外に発信することが必要です。エコミュージアム構想や安川佐久地域の集落機能の維持による地域の活性化を視野に、旭川・札幌・東京それぞれの中川会の皆様のご協力もいただきながら、移住体験施策を展開してまいりますのでご理解をお願いいたします。

再質問

現状での雇用に対するお考えは。

川口町長

新たな事業展開を固めながら移住者を含めた農業・林業を切り口とした雇用に結びつけていきます。

再質問

基幹集落の維持再編のためにも、一例ですが、移住・定

住専用の新築住宅を建てるとか大胆な施策が必要と考えますが、如何お考えか。

川口町長

中川町の魅力は豊かな森林であり天塩川であり、化石を含めた地域の特性そのものがあります。また空気はおいしいし水もおいしい、そして心温まる人と人との絆があることをしっかり伝えることにより今後の定住政策を確実に成果を出すように検討致します。



移住体験住宅(安川三地区)

問 住民参加のまちづくりの あり方について

答 住民懇談会で目的を明確にしたい

第4回定例会に当たって平成25年度政策・予算編成に向けて、川口町政の振り返りでもあります。過疎化・高齢化が進み中川町が生き残るためには、何をなさなければならぬのか大切な時でもあります。

「地方分権・地域主権」が叫ばれていますが、特に中川町のような小規模地域で一番活力を生むものは何でしょうか。川口町長は常に「元氣」を公約として掲げられておりますが、私はまちづくりの元氣は住民が一つのまちづくりの目標に向かって、一丸となつて知恵を出し汗をかくことからではないでしょうか。当面する行政課題「高校の問題、中間施設の問題、温泉問題」どれをとってもその重要性が問われています。これらの観点から次の点についてお伺いします。



小川鉄吉 議員

1. 中川町まちづくり参加（条例）の具体的な取り組みと行政対応について
2. 住民投票条例制定について

川口町長

昨年に引き続き今年も町内会・自治会単位で10会場において住民懇談会を開催しました。今年は主に、当初予算に計上した新規事業について説明し数多くの意見をいただき、更に住民の皆様から様々な日頃の思いを聞く機会となりました。どの会場においても、出席者は10名前後であり双方で意見交換が活発に行われ、有意義な懇談会になったところであります。また来年度は、私の任期の振り返りの年になることから、就任以来掲げている「3つの元気づくり」の実現に向け、各分野においてそれぞれ意見をいただき、そのご意見を最大限反映させる

よう計画を検討しているところであります。議員ご指摘のとおり、行政課題はまだまだ山積しており重要性が問われておりますので、まちづくり参加条例には、町民参加の対象事項が明記されておりますが、基本的な事項、重大な影響を及ぼす事項はもとより、住民生活に関係の深い事項につきましては、これからも本条例の趣旨に基づき皆様の意見を積極的に聞いてまいりまし、目的を明確にした懇談会、説明会を開催して参ります。

住民投票条例の制定についてであります。この制度は地域に対し重大な影響を与える可能性のある事項や住民、議会、行政の間に意見が大きく分かれるような事項については、住民の意思を踏まえて政策決定を行うことが重要であることから、投票により直

接住民の意思を確認することを目的とする制度であると認識しております。制度の形態についても、住民の意見を確認する事項ごとに、議会の議決に基づいて条例を制定し実施する「個別設置型」と、あらかじめ投票に関するルールを定めておき自動的に住民投票が実施できる「常設型」があります。

以上、簡単に住民投票条例について述べさせていただきましたが、住民意思の決定に関する重要なテーマであり、今後の議会を含む多様な住民の議論の推移を見守りたいと考えております。いずれにしても住民、議会、行政が論議をつくり住民の意思が反映できるように、地域の十分な合意形成を図るために、今後も「まちづくり参加条例」で住民の意見を最大限反映させる取り組みを積極的に実施してまいります。

再質問

19年にまちづくり参加条例が設置され、住民が条例の内容を熟知されているのかという点について、行政として

この5年間、住民周知あるいは住民にこれらの趣旨やまちづくりに参加していただく手法なり、理解をしていただく行政対応がほとんどされていないと思うが、これについてどうお考えか。

川口町長

参加条例があるからやっているわけではございません。参加条例に基づいてやるということは姿勢としては誠実に守つてまいりたいと思っておりますが、まず私は住民の方の意見を聞くところを私自身の政治姿勢として確かなものにしていきたいという思いがございます。



住民懇談会

問 主要産業の重点施策と 住民福利について

答 新しい雇用の創出を 目指しております

政権が変わり、地方にとつては、期待する政策と不安が募る部分も考える必要性はあり、地方自治体として説得のある政策を掲げ、地方自治を守る対策が重要であり、住民に納得と理解がされる政策立案が今後に向けた重要課題と思います。町長の施政をお伺いし、特に次の2点について具体的な方向性を示した政策実現を目指しているのか、お伺い致します。

①主要産業の重点政策の実施について

・特に地域産業の好転策と経済対策を包括的に実施して行くのか具体的な考えをお伺い致します。

②住民福利に対する政策実施は、どのような考え方で実行して行くのかお伺い致します。

川口町長

新たな雇用につながる「元気な産業経済」を推進してい

くため、基幹産業である農業と林業の新たな振興策をすすめ、農商工連携や起業の積極的な支援などにより、新しい雇用の創出を目指しております。

農業につきましては、「川町農業振興センター」の設置を明確にし、農業者の担い手の確保や農業経営向上に関する指導、労働の軽減、安全・安心な自給飼料の確保や畜産副産物の堆肥化の一括管理を行うなど、農業振興の充実ならびに実現に向け取り組んでおります。

林業につきましては、従来の林業経営の振興に、「森林に親しみ、森林の恵みを授かる」住民の暮らしを「森林業の振興」と位置づけ、取り組んでおります。

先般の議会からのご提案も踏まえ、低所得者の高齢者や障害者世帯等に対し、「住宅



佐藤 正 議員

除雪費の一部助成」を実施したところであります。

また、昨年度、実施した「冬期生活支援事業」についても、灯油価格の高騰や、住民からの要望も寄せられ、総合的に勘案をした結果、本定例会において補正予算の提案をさせて頂いているところであります。

しかし、行政が行う経済的支援だけで、弱者対策が充分に図られるとは考えておりません。

中川のこの厳しい冬を元気に過ごして頂けるよう、今できる施策をしっかりと実施することで、社会的弱者と言われる人たちにとって「安心して住みやすいまちづくり」の実現に向けて取り組んでまいりますので、ご理解をお願い致します。

再質問

先般、コープ札幌と協定をされた。トドックの件について、どのような原理の中でやられたのか。

遠藤副町長

福祉政策の部分でアンテナを張りたいといった部分があり、けっして町内のにやれないのかといった部分については、全く思いがなかったというわけではございません。将来的な商工業のそれぞれの経済活動の中で、一体的にできれば、よいのではないかと考えております。

川口町長

物事にはいくつかの側面があると思います。私は、3つの元気ということで町政を担わさせていただいております。その中でも、私はもともと大切にしなければならぬ価値観というのは、やはり命を守ることだと考えております。その中で、様々な見守り制度というものを充実させながら、地域の高齢世帯に対する安全と安心を高めていくことに大きな価値観を持っています。その一環として、地域の商業

者の皆さんに対する不安要因となる仕組みがあったと反省も含め、全く別に地域商業者の皆さんが極めて厳しい状況にあると、いうことは私自身誰よりも自覚をしているつもりであります。今のお年寄りの見守り制度を充実させるということと切り離して、もうひとつの側面である地域商業者の希望になるような、25年度に向けた新たな政策をしっかり打ち出していきたいと考えております。



排水路土砂除去

平成23年度 一般会計 5特別会計 決算を認定

9月定例会で決算審査特別委員会（委員長 佐藤 正）が設置され、10月15日・16日の2日間わたり審議し、すべての決算を認定した。

一般会計・特別会計

区 分	収入済額	支出済額	形式収支	実質収支
一 般 会 計	3,770,455千円	3,607,858千円	162,597千円	157,530千円
国民健康保険事業	223,908千円	208,977千円	14,931千円	14,931千円
簡易水道事業	214,537千円	214,405千円	132千円	132千円
農業集落排水事業	201,765千円	201,222千円	543千円	543千円
介護保険(保険事業)	175,660千円	175,660千円	0千円	0千円
(サービス事業)	6,770千円	6,770千円	0千円	0千円
後期高齢者医療	25,798千円	25,798千円	0千円	0千円

※実質収支＝形式収支－翌年度に繰越すべき額

二十三年度の事業が適正に執行されているか審査を行い、町当局から各事業の目的や効果について説明を求め、決算を認定しました。

主な質問事項

歳入全般

(一般会計・特別会計)

- ・各町税の滞納状況について
- ・公営住宅使用料等の収納状況について
- ・町有財産の管理及び処分について
- ・土地開発基金について
- ・特別交付税の算定について
- ・電源立地交付金について
- ・ふるさと寄付金の使途について
- ・財産売却収入について(岩石)
- ・職員住宅収入について

総務課関係(歳出)

- ・職員給与、時間外手当、住宅手当について
- ・職員研修、人づくり研修について

- ・地域情報通「おしらせ君」の活用について
- ・移住体験事業について
- ・各種期成会の活動状況について

教育委員会関係(歳出)

- ・学習塾運営について
- ・小中学校の学校運営について
- ・パークゴルフ場等の管理について
- ・中川村交流派遣事業について
- ・山村開発センター移転について
- ・公民館活動について
- ・文化財保存について
- ・スポーツクラブ自立支援事業について
- ・エコミュージアムセンター運営について

住民課関係(歳出)

- ・住民バス運行について
- ・防犯灯の設置状況について
- ・冬季生活支援事業について
- ・各種検診及び健康づくり事業の実績について

- ・幼児センターの運営について

- ・地域包括支援センターの委託実態について
- ・敬老会の開催経過について
- ・狂犬病予防対策について

産業振興課関係(歳出)

- ・有害鳥獣対策について
- ・農業者後継者対策について
- ・各公園管理について
- ・天塩川関連事業の一体的な事業展開について
- ・道の駅の管理委託について

環境整備課関係(歳出)

- ・町道維持管理について
- ・街路灯、道路照明の維持管理について
- ・町道除雪について
- ・営平排水機場の維持管理について
- ・簡易水道事業の現況と今後について
- ・農業集落排水事業の現況と今後について

カメラスケッチ

撮影にご協力いただき
ありがとうございました。

なかがわの鼓動



1月7日 子どもスキー教室



1月4日 成人の日のつどい



1月13日 剣道少年団寒げいこ



1月7日 消防団出初式



1月13日 柔道少年団鏡開き



1月7日 獅子舞

上川管内町村議会議員研修会

上川総合振興局管内町村議会議員研修会が平成24年11月5日旭川市において開催され、上川管内町村議会議員の殆どが参加され北海道町村自治体の懸案である課題について講演による研修をいたしました。この研修は毎年上川町村議長会が主催して、時局に合った課題について講師を招聘して開催しており高い評価を得ているものがあります。今年は次の2氏によるそれぞれの現職からの演題で開催されました。



- 演題1 「北海道農業の展望」と題して 昆 吉 則 氏
(株)農業技術通信社代表取締役
月刊「農業経営者」編集長
- 演題2 「地方財政の現状と課題」と題して 今 井 太 志 氏
北海道総務部財政課長

議会目誌

十月

- 九日 上川管内町村議会議長研修会【美瑛町】(十日まで)
第十回中川文化芸術祭
十五日 決算審査特別委員会(十六日まで)
十九日 国際平和協力活動派遣隊員を囲む会【名寄市】
二十一日 中川町立中央小学校第三十九回学習発表会
二十七日 北海道中川商業高等学校閉校記念式典
二十九日 中川町遺族会主催「戦没者慰霊法要」
三十一日 林活議連平成二十四年度政策研究会【旭川市】
北海道縦貫自動車道士別市多寄町(名寄市間)「凍結解除フォーラム」【名寄市】

十一月

- 四日 道の駅ながわ木製看板「ぬくぬく」完成設置記念式
五日 平成二十四年度上川管内町村議会議員研修会【旭川市】
九日 第十回議会運営委員会
十一日 第十二回議員全員協議会
十三日 幼児センター発表会
十四日 上川町村議会議長会臨時総会【東京都】
十六日 第五十六回町村議会議長全国大会【東京都】
第三十三回議員全員協議会
第三回臨時会
二十一日 第二師団長 友部薫様歓迎会【名寄市】
二十四日 自民党名寄ブロック支部陳情会【名寄市】
二十六日 経済常任委員会
二十七日 北方領土を知る集い
二十八日 天塩川と共生する会平成二十四年度定期総会

十二月

- 四日 総務常任委員会
五日 経済常任委員会
十一日 第十一回議会運営委員会
十三日 第十四回議員全員協議会
十七日 第十二回議会運営委員会
十九日 中川商業高等学校「課題研究発表会」
二十日 第四回定例会(二十一日まで)
二十五日 第十五回議員全員協議会
二十八日 役場・議会仕事納め

一月

- 四日 成人の日のごとく
七日 中川消防団出初式

編集後記

7月15日深夜・翌日朝と中川だけの地震、マグニチュード4と記録にない揺れを感じる地震があり(1月3日正月最中の体感した震度3)何かしら不安な感じがしたことは町民皆さんが思ったことでしょう。大雪そして長雨、また9月に入ってからの高温、収穫期の長雨など天候不順そして師走に入って大雪。これらの異常と言える気象は何も中川に限らず全道的に被害を大きくしたことは連日の報道で知るところでした。議会としてはこれに対処する町民の生活安定に腐心したところです。

12月「近いうち解散」総選挙で民主党政権が大敗し、自公政権が再度政権につき、景気浮揚政策は2パーセントのインフレ経済策での不況脱却。不安と期待が交錯する中10兆円補正予算のニュース。中川町もこの政策に翻弄されない財政運営が望まれます。昨年暮れに「金」が今年の漢字に決まりすべてに金・おかねが時勢を表したところ。高齢者社会と人口減は中川町に限らず北海道、日本の喫緊の課題とされます。この対処に向かつて町・議会共に知恵と行動を出して新しい「巳年」を乗り越えたいと思います。議会広報「ながわ」にご意見とご愛読を。(一記)

議会広報特別委員会

委員長 鎌塚 一成
委員 菊地 広幸